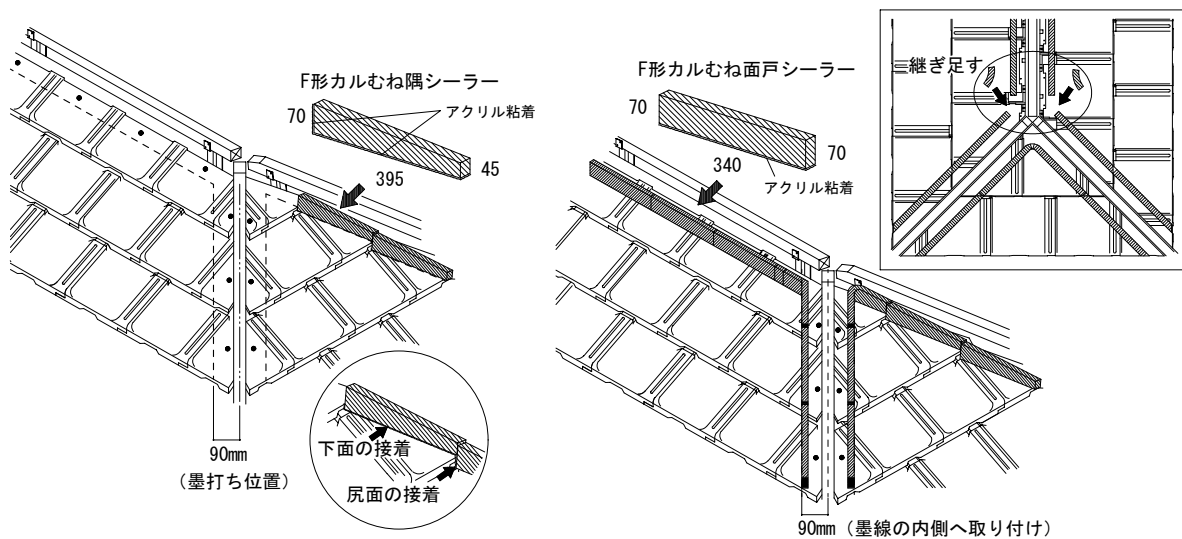


### 13. 三角冠乾式工法（カルむね）

#### 乾式工法（EPDMシーラー隔棟/大棟、防水シート仕様）

- \* 棟用垂木の取付けは12. 三角冠湿式工法（p. 19）を参照してください。
- \* 棧葺きは10. 棧葺き（p. 16, 17）を参照してください。
- \* 棧瓦のホコリを払い、棟芯から90mmの位置へ墨打ちしてください。
- \* 墨線の内側にF形カルむね隔シーラー（1枚/瓦1段）、F形カルむね面戸シーラー（約1枚/瓦1枚）を密着させてください。
- \* F形カルむね隔シーラーは、下面と尻面の両方を瓦と密着させてください。
- \* 隔棟と大棟のシーラーの継ぎ目部分に隙間が空く場合は、シーラーを継ぎ足して取りつけてください。



- \* カルむねシートは黒面を上にし、水上側を上から被せ、垂木にタッカーで固定してください。
- \* 棟の通りに注意しながら、冠瓦幅からF形カルむねシーラーとカルむねシートがはみ出さないように冠瓦を取りつけてください。

